

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科および国際診療部では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

〔研究課題名〕 外国籍がん患者の診療実態に関する後方視研究

〔研究対象者〕

2020年1月～2025年8月までの間に、国立国際医療センターにて悪性腫瘍と診断された外国籍の方

〔利用する診療情報等の項目と取得方法〕

診療情報等：診断名、年齢、性別、国籍、母国語、生活習慣、既往歴、併存症、来日歴、ビザ、保険情報、検査結果（血液、尿、生理、放射線画像）、治療経過、転帰（生存の有無、死亡の有無、帰国の有無）等
診療情報データベース・院内がん登録および電子カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

〔利用の目的〕 （遺伝子解析研究： 無 ）

本研究では、外国籍がん患者の診療体制・受け入れ体制の改善、外国籍がん患者の診療に関するガイドライン策定・政策提言を行うことを目的とします。収集した診療情報等は、外国籍がん患者の診療実態の把握と課題の検討を行うために利用致します。

〔研究実施期間〕 研究の実施許可日より2028年3月31日までの間（予定）

〔この研究での診療情報等の取扱い〕

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

〔機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者〕

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科 清水千佳子

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 乳腺・腫瘍内科 安藤健樹

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

作成日： 2025年 9月 11日